

青森県経済統計報告

平成15年9月4日
企画振興部統計情報課

1 青森県の推計人口（平成15年8月1日現在）…………… 1

県人口	1,460,013人	(対前月 413人減少、対前年同月 7,503人減少)
自然動態	49人減少	(出生者数 1,069人、死亡者数 1,118人)
社会動態	364人減少	(転入者数 2,089人、転出者数 2,453人)

2 本県の経済動向

(1) 経済概況

本県経済の動向をみると、厳しい雇用情勢が続く中で、鉱工業生産指数、個人消費や住宅建設の各指標においていずれも前年同月を下回るなど、低調な動きが続いており、一段と厳しい状況となっている。

(2) 主要経済指標の動向

(2-1) 製造業の生産 平成15年6月の青森県鉱工業生産指数（平成12年=100）は、季節調整済指数が79.8で、前月比7.0%の低下となり、2ヶ月連続で前月を下回った。また、原指数は80.1で、前年同月比8.4%の低下となり、2ヶ月連続で前年同月を下回った。 … 2

(2-2) 雇用情勢 平成15年6月の現金給与総額は405,656円で前年同月比4.5%増となった。このうち、定期給与は233,114円で0.3%減となっている。総実労働時間では、159.8時間で前年同月比1.0%減となり、所定外労働時間も7.1時間で4.0%減となっている。7月の有効求人倍率は0.29倍となり、先月と同率となった。 … 3

(2-3) 物価 平成15年7月の青森県消費者物価指数は、総合指数で99.3となり、前月比0.4%下落となり、2ヶ月連続で前月を下回った。 … 4

(2-4) 個人消費 平成15年6月の大型小売店売上高は、全店舗ベースで前年同月比8.4%減の148億9千6百万円となり、既存店ベースでも前年同月比4.4%減といずれもマイナスとなった。平成15年6月の軽自動車を含めた乗用車新車登録・届出台数は4,168台で、前年同月比3.8%の減となり、3ヶ月連続前年を下回った。 … 5

(2-5) 住宅建設 平成15年6月の新設住宅着工戸数は1,103戸で、持家及び貸家の減少により前年同月比4.7%減となり、5ヶ月連続前年を下回った。 … 6

(3) 景気動向指数（平成15年6月分）…………… 7

先行指数	22.2%	(5か月連続で50%を下回った)
一致指数	11.1%	(4か月連続で50%を下回った)
遅行指数	42.9%	(2か月ぶりに50%を下回った)

1 青森県の推計人口（平成15年8月1日現在）

【概況】

平成15年8月1日現在の本県推計人口は、1,460,013人で、前月に比べ413人、前年同月と比べると、7,503人それぞれ減少となった。

○自然動態

出生者数が1,069人、死亡者数が1,118人で、49人の減少となった。

7月中の統計としては、出生者数と自然増加数が過去（昭和41年以降。）最少となり、死亡者数が過去（昭和41年以降。）最多となった。

○社会動態

転入者数が2,089人、転出者数が2,453人で、364人の減少となった。

総人口の推移

(単位：人)

	総数	性別		対前月増減率	増減数	自然増減数			社会増減数	県外からの転入者数	県外への転出者数
		男	女			出生者数	死亡者数	自然増減数			
平 2.10.1	1,482,873	704,758	778,115	-	-41,575	-	-	-	-	-	-
7.10.1	1,481,663	704,189	777,474	-	-1,210	-	-	-	-	-	-
12.10.1	1,475,728	702,573	773,155	-	-5,935	-	-	-	-	-	-
14. 8. 1	1,467,516	697,783	769,733	-0.005%	-74	47	1,140	1,093	-121	2,232	2,353
14. 9. 1	1,468,116	698,190	769,926	0.041%	600	24	1,082	1,058	576	2,645	2,069
14.10.1	1,467,925	698,044	769,881	-0.013%	-191	-14	1,046	1,060	-177	1,758	1,935
14.11.1	1,467,951	698,001	769,950	0.002%	26	37	1,160	1,123	-11	1,978	1,989
14.12.1	1,467,553	697,778	769,775	-0.027%	-398	-248	946	1,194	-150	1,345	1,495
15. 1. 1	1,467,047	697,500	769,547	-0.034%	-506	-264	898	1,162	-242	1,370	1,612
15. 2. 1	1,466,409	697,059	769,350	-0.043%	-638	-435	1,048	1,483	-203	1,460	1,663
15. 3. 1	1,465,541	696,605	768,936	-0.059%	-868	-366	904	1,270	-502	1,374	1,876
15. 4. 1	1,459,568	693,152	766,416	-0.408%	-5,973	-353	909	1,262	-5,620	4,746	10,366
15. 5. 1	1,460,756	693,883	766,873	0.081%	1,188	-173	992	1,165	1,361	5,161	3,800
15. 6. 1	1,460,557	693,699	766,858	-0.014%	-199	-165	999	1,164	-34	1,815	1,849
15. 7. 1	1,460,426	693,599	766,827	-0.009%	-131	-53	992	1,045	-78	1,559	1,637
15. 8. 1	1,460,013	693,336	766,677	-0.028%	-413	-49	1,069	1,118	-364	2,089	2,453

7月中の人口動態の推移

(単位：人)

年月		平6.7	7.7	8.7	9.7	10.7	11.7	12.7	13.7	14.7	15.7
自然動態	出生者数	1,257	1,209	1,272	1,250	1,220	1,122	1,101	1,196	1,140	1,069
	死亡者数	854	982	1,069	995	1,041	987	990	1,073	1,093	1,118
	自然増減数	403	227	203	255	179	135	111	123	47	-49
社会動態	県外からの転入者数	2,374	2,369	2,423	2,174	2,214	2,209	2,131	2,080	2,232	2,089
	県外への転出者数	2,310	2,310	2,287	2,145	2,384	2,209	2,222	2,136	2,353	2,453
	社会増減数	64	59	136	29	-170	0	-91	-56	-121	-364

※1 平成2、7、12年は国勢調査による数値。

※2 平成14年8月1日から平成15年8月1日までの人口は平成12年国勢調査人口（確定値）を基礎に推計している。

※3 増加数は、平成2、7、12年が前回、その他が前月に対するものである。

※4 算出方法 県の人口＝自然増減数（出生－死亡）＋社会増減数（県外転入－県外転出）

※5 これまで社会動態の算定には、県間移動数に加え県内市町村間移動数を含めていたが、県間移動数に修正を行った為、過去の公表数値と異なっている。

※6 県の人口には、県内市町村間の移動者数を含んでいない為、各市町村の推計人口の総数とは一致しない。

2 本県の経済動向

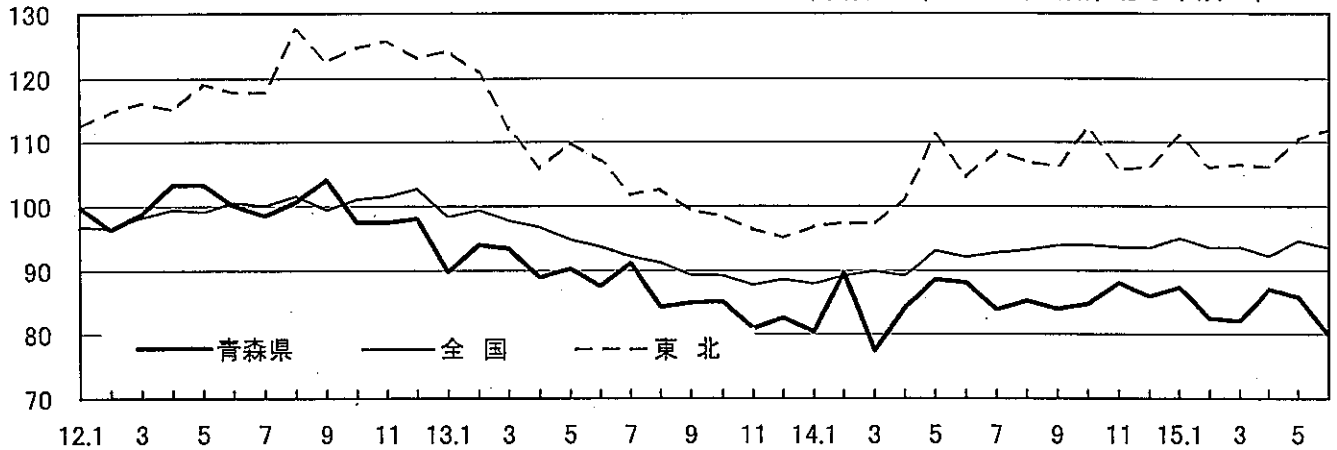
(2) 主要経済指標の動向

(2-1) 製造業の生産

平成15年6月の青森県鉱工業生産指数(平成12年=100)は、季節調整済指数が79.8で、前月比7.0%の低下となり、2ヶ月連続で前月を下回った。また、原指数は80.1で、前年同月比8.4%の低下となり、2ヶ月連続で前年同月を下回った。

季節調整済指数で前月からの動きをみると、電子部品・デバイス工業、パルプ・紙・紙加工品工業、家具工業などが上昇に寄与した一方、化学工業、食料品工業、一般機械工業などが低下し、鉱工業全体では7.0%の低下となった。

青森県・全国・東北の鉱工業生産指数推移(季節調整済指数) (平成12年=100) ※東北は平成7年=100

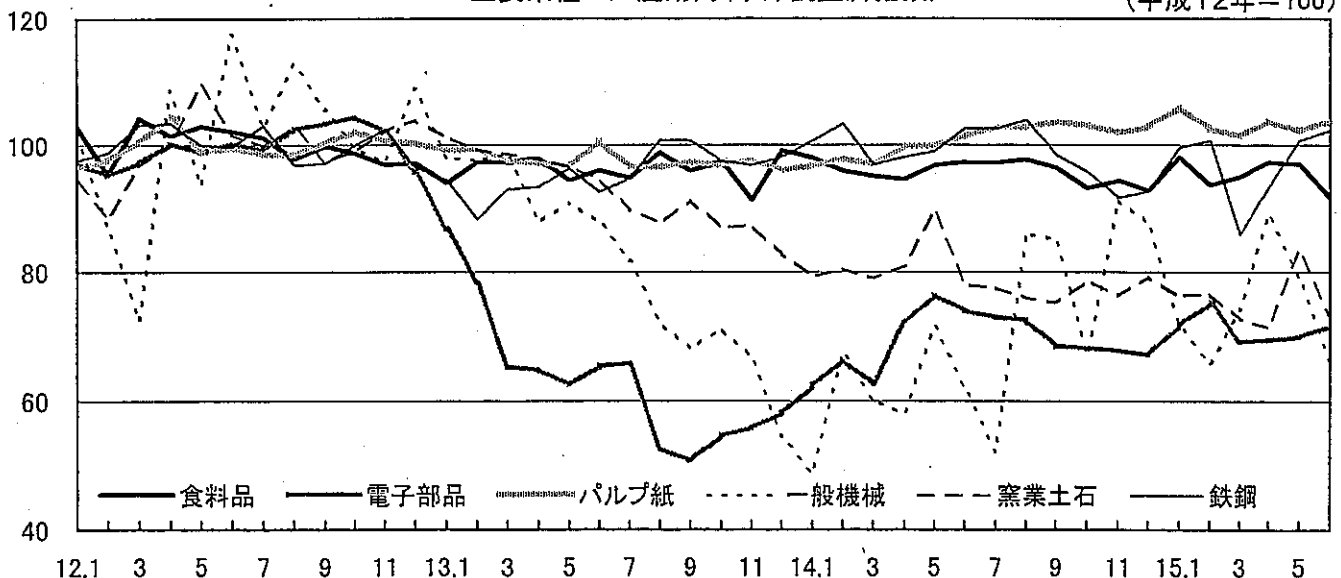


◎業種別動向(前月比)

プラス			マイナス		
業種	前月比(%)	寄与率(%)	業種	前月比(%)	寄与率(%)
(鉱工業)				-7.0	-100.0
電子部品・デバイス工業	2.4	3.1	化学工業	-60.1	-22.6
パルプ・紙・紙加工品工業	1.6	2.1	食料品工業	-5.5	-21.2
家具工業	36.9	1.5	一般機械工業	-16.7	-12.3
鉄鋼業	1.7	1.4	電気機械工業	-12.1	-9.5
			窯業・土石製品工業	-12.6	-9.4

主要業種の生産動向(季節調整済指数)

(平成12年=100)

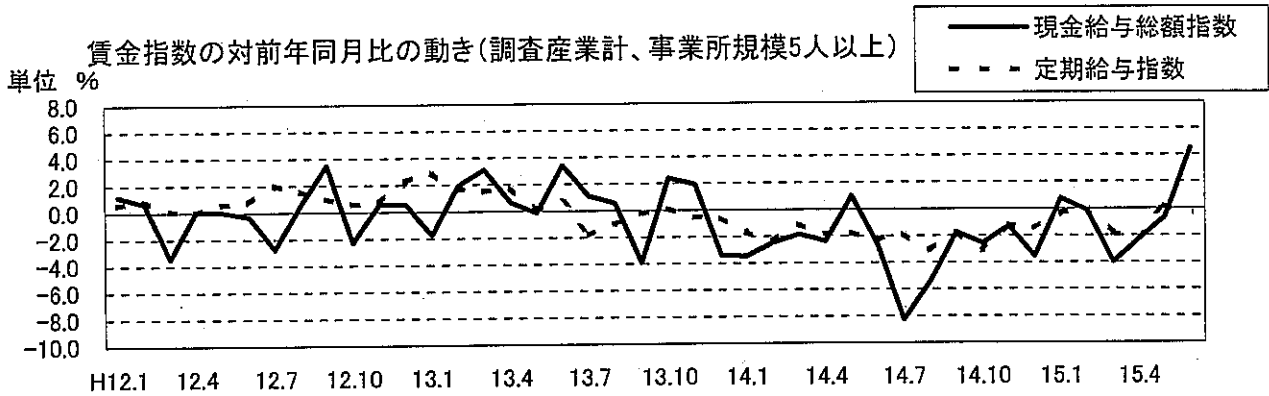


資料: 県統計情報課「青森県鉱工業生産指数(速報)」

(2-2) 雇用情勢

平成15年6月の現金給与総額は405,656円で現金給与総額指数(平成12年=100)では141.4となり、前年同月比4.5%増となった。このうち、定期給与は233,114円で定期給与指数では98.7となり、前年同月比0.3%減となった。実額で比較した定期給与の全国対比は84.2となった。

所定外労働時間は7.1時間で、所定外労働時間指数では82.6となり、前年同月比4.0%減となった。7月の有効求人倍率は0.29倍となり、先月と同率となった。

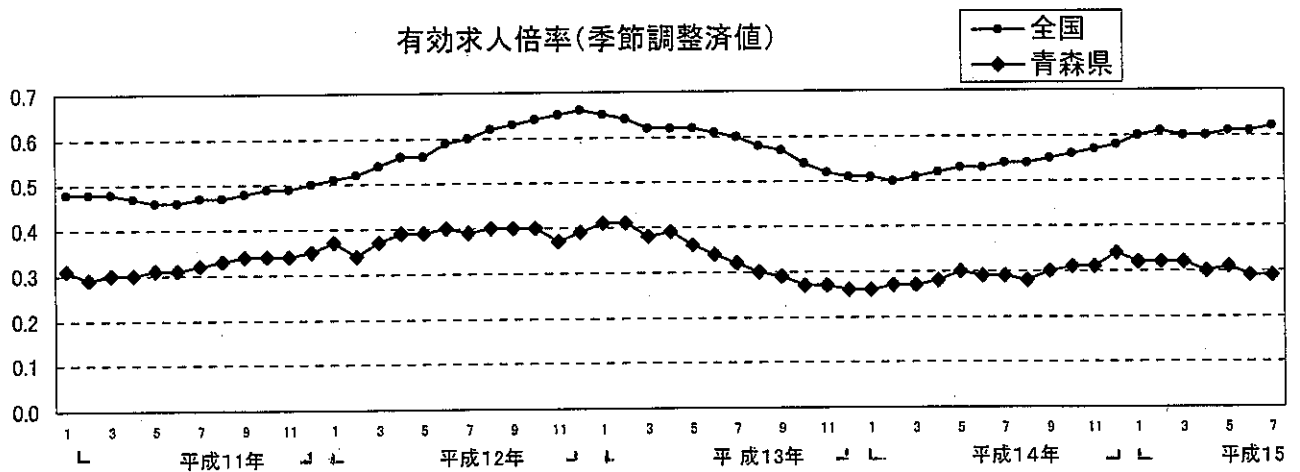


賃金及び労働時間の動き(調査産業計、事業所規模5人以上)

	実数		指数(H12=100)		対前年同月増減率	
	県	全国	県	全国	県	全国
現金給与総額	405,656 円	481,998 円	141.4	135.5	4.5 %	2.5 %
定期給与	233,114 円	279,301 円	98.7	98.3	-0.3 %	0.2 %
特別給与	172,542 円	202,697 円	—	—	—	—
総実労働時間	159.8 時間	157.9 時間	100.8	102.1	-1.0 %	1.1 %
所定内労働時間	152.7 時間	148.3 時間	101.7	102.5	-0.9 %	1.0 %
所定外労働時間	7.1 時間	9.6 時間	82.6	97.0	-4.0 %	4.4 %

(注)1.定期給与とは「きまって支給する給与」のことである。2.前年同月比は指数によって算出している。

資料: 県統計情報課「毎月勤労統計調査結果(速報)」



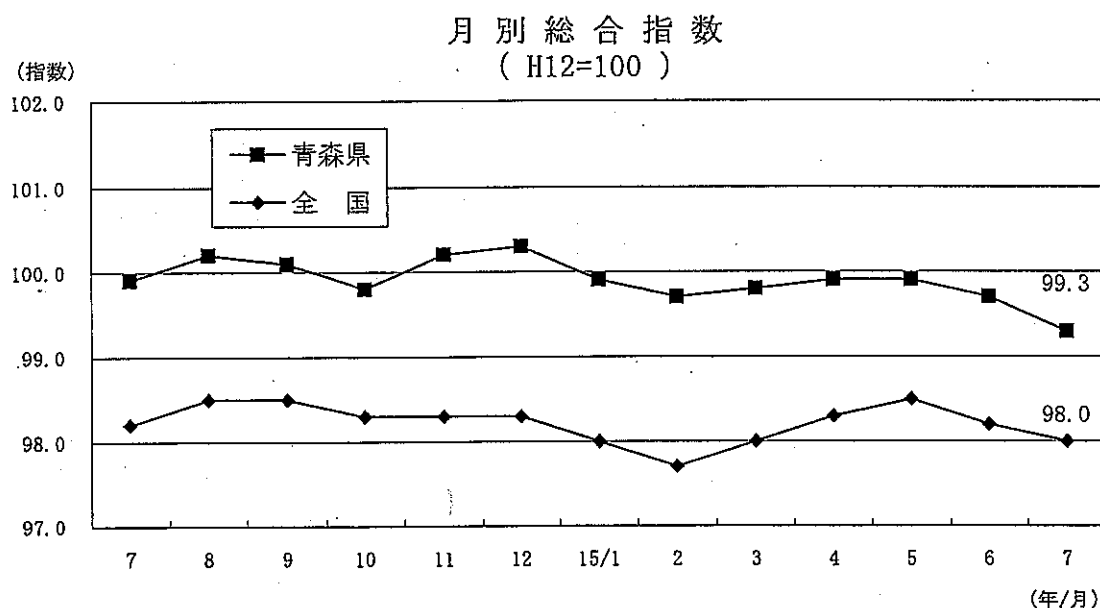
資料: 青森労働局職業安定部職業安定課

(2-3) 物価

平成15年7月の青森県消費者物価指数は、平成12年を100とした総合指数で99.3となり前月比0.4%減、前年同月比0.6%減といずれも下落となった。

前月指数と比較すると、「諸雑費」はたばこや化粧石けん等、「教養娯楽」は教養娯楽用サービス（外国パック旅行等）の値上り等により上昇した。

「食料」は生鮮果物（さくらんぼ、すいか等）や生鮮魚介（いか、かつお等）、
「被服及び履き物」は夏物の衣料等の値下り等により下落した。



10大費目別指数の動き

(平成12年=100)

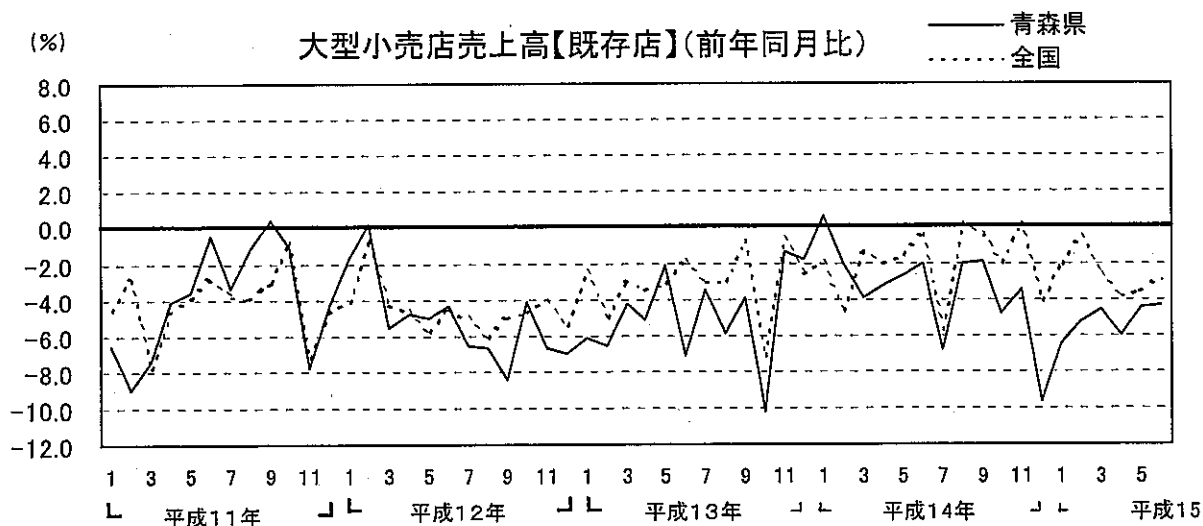
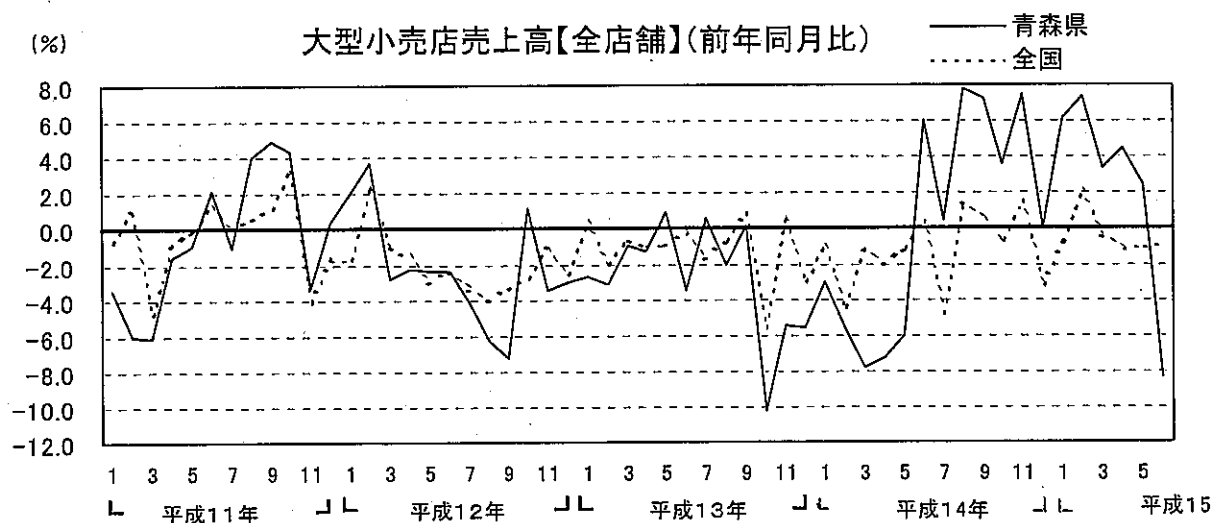
	総合	総合 (持ち家の 帰属家賃を 除く)	総合 (生鮮 食品を除く)	食料	生鮮 食品	住居	光熱・ 水道	家具 ・家事 用品	被服 及び 履き物	保健 医療	交通・ 通信	教育	教養 娯楽	諸雑費
当月指数	99.3	98.0	99.6	99.3	94.8	105.6	100.2	92.1	93.0	108.3	97.2	100.3	91.6	100.6
前月比	▲ 0.4	▲ 0.5	0.1	▲ 1.7	▲ 8.5	0.4	0.2	▲ 0.2	▲ 1.8	▲ 0.2	0.0	0.0	0.7	1.5
前年同月比	▲ 0.6	▲ 0.6	▲ 0.3	▲ 1.0	▲ 4.8	▲ 0.4	2.2	▲ 4.4	▲ 1.0	5.0	▲ 0.3	▲ 4.6	▲ 1.9	1.0

資料：県統計情報課「青森県消費者物価指数月報」(速報)

(2-4) 個人消費

平成15年6月の大型小売店売上高は、全店舗ベースで前年同月比8.4%減の148億9千6百万円となり、既存店ベースでも前年同月比4.4%減と6ヶ月ぶりに全店舗ベース、既存店ベースのいずれにおいてもマイナスとなった。内訳をみると、百貨店、スーパーとも衣料品、飲食料品等全ての部門で前年を下回った。

平成15年6月の軽自動車を含めた乗用車新車登録・届出台数は4,168台で、普通乗用車は増加したが、小型乗用車、軽乗用車がいずれも減少したことから、全体としては前年同月比3.8%減となり、3ヶ月連続前年を下回った。

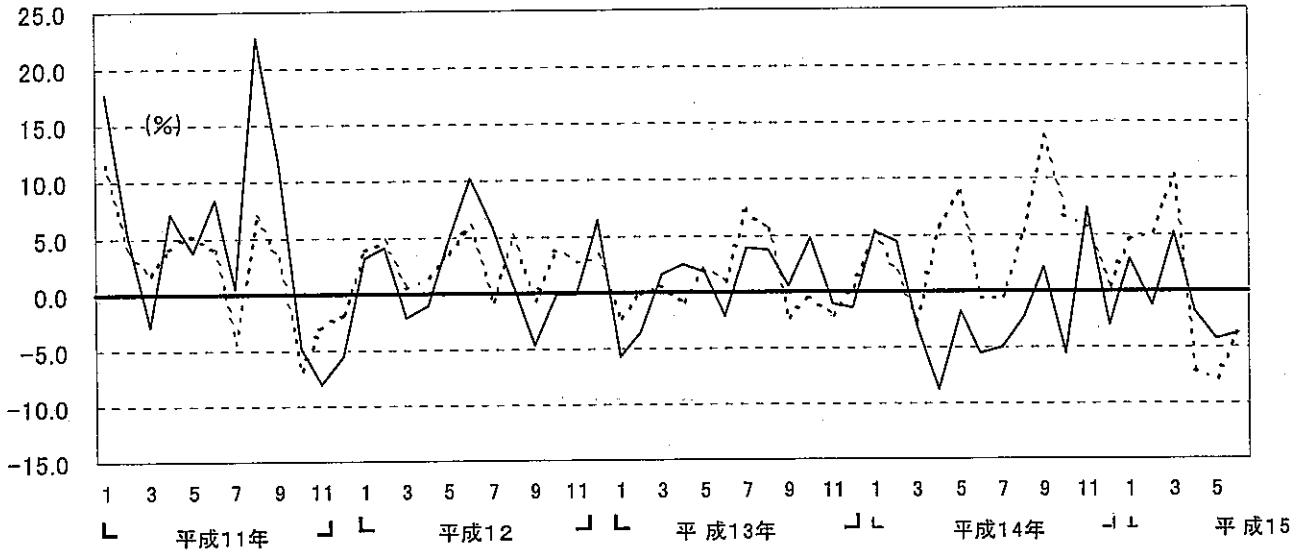


資料：東北経済産業局「東北地域大型小売店販売額動向」

- * 大型小売店は従業員が50人以上で売場面積が1,500平方メートル以上の商店をいう。そのうち、既存店とは、当月及び前年同月とも調査の対象となっている商店をいう。

乗用車(軽を含む)新車登録・届出台数(前年同月比)

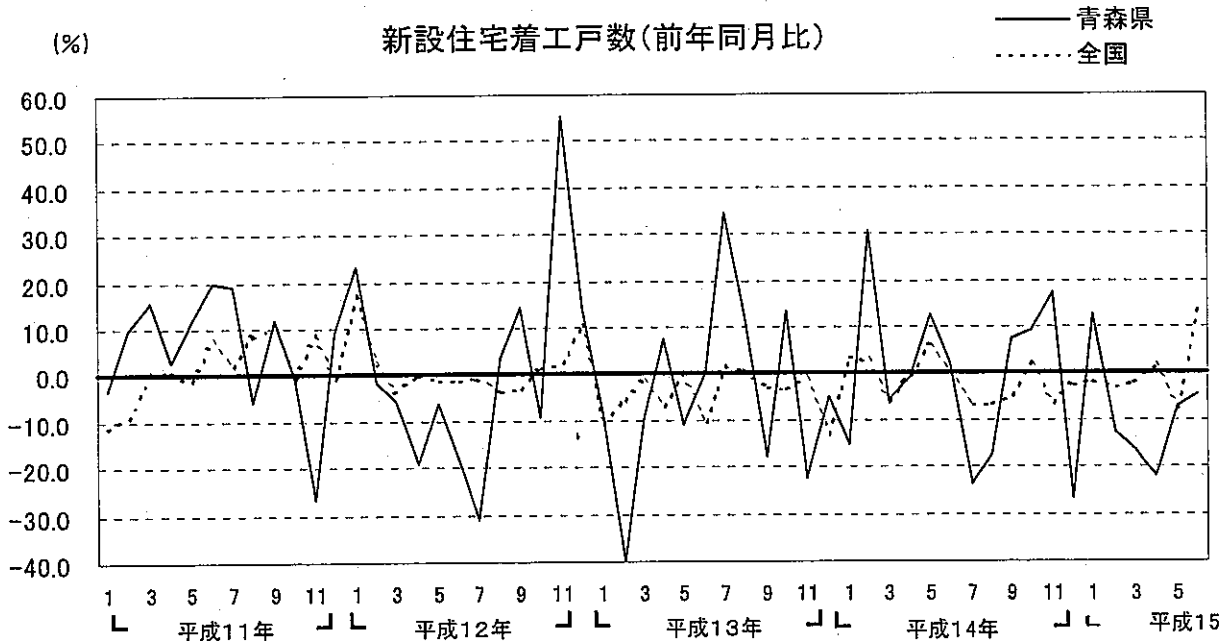
— 青森県
 全国



資料：青森県自動車会議所「車種別登録・届出台数」、
 日本自動車販売協会連合会「自動車統計データ」

(2-5) 住宅建設

平成 15 年 6 月の県内新設住宅着工戸数は 1,103 戸で、持家及び貸家の減少により前年同月比 4.7%減となり、5ヶ月連続前年を下回った。



資料：県建築住宅課「建築着工統計」、国土交通省「建設統計月報」

(3) 青森県景気動向指数

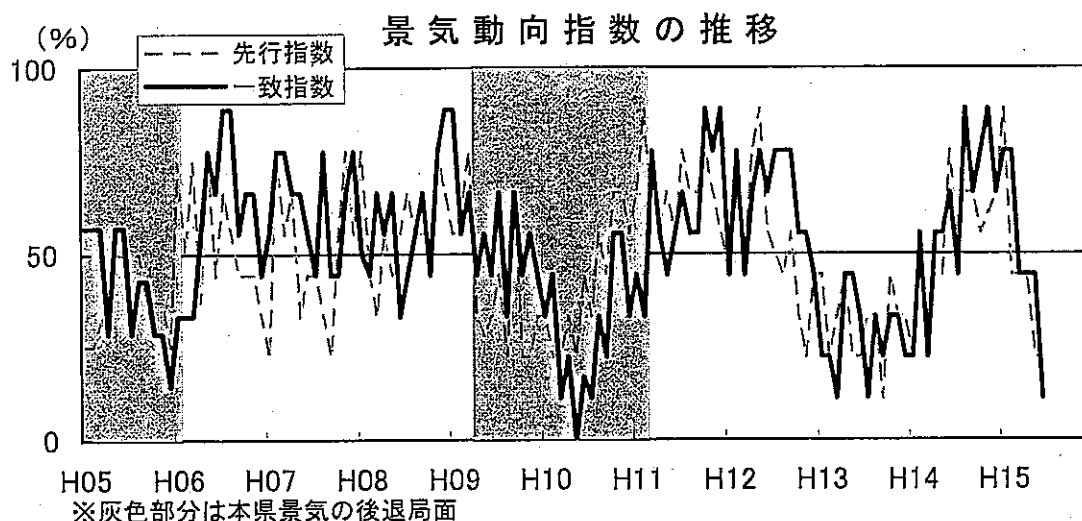
平成15年6月の青森県景気動向指数は、先行指数22.2%、一致指数11.1%、遅行指数42.9%となった。

先行指数は、5か月連続で50%を下回った。

一致指数は、4か月連続で50%を下回った。

遅行指数は、2か月ぶりに50%を下回った。

6月の一致指数は、生産関連・流通関連の指標等がマイナスとなったことから、50%を下回った。



●個別系列の動き (各指標は季節調整等を行い、5ヶ月前と比較しています)

プラスの指標		マイナスの指標	
先行系列 (9指標中7指標がマイナス)			
新規求人数 (常用)	3か月連続	企業倒産負債額	4か月連続
中小企業景況DI	2か月ぶり	生産財生産指数	3か月連続
		乗用車新車登録届出台数	3か月連続
		所定外労働時間指数 (全産業)	3か月連続
		建築着工床面積 (鉱+商+サ)	2か月連続
		入職率 (製造業)	2か月連続
		新設住宅着工戸数	2か月ぶり
一致系列 (9指標中8指標がマイナス)			
有効求人数 (常用)	2か月ぶり	鉱工業生産指数	5か月連続
		海上出入貨物量 (八戸港)	4か月連続
		雇用保険基本手当初回受給者数	3か月連続
		東北自動車道IC利用台数	2か月連続
		電気機械生産指数	2か月ぶり
		大型小売店販売額 (実質)	2か月ぶり
		日銀券月中発行高	3か月ぶり
		大口電力使用量	15か月ぶり
遅行系列 (7指標中4指標がマイナス)			
常用雇用指数 (製造業)	13か月連続	消費者物価指数 (帰属家賃除く総)	3か月連続
単位労働コスト (製造業)	5か月連続	勤労者世帯家計消費支出 (実質)	2か月ぶり
1人平均月間現金給与総額	6か月ぶり	輸入通関実績 (八戸港)	2か月ぶり
		信用保証申込金額	12か月ぶり

資料：県統計情報課「青森県景気動向指数月報」